

# 花園高等学校



所在地 : 京都府京都市  
 生徒数 : 約1,306名

進学カルティベートコース 統括責任者 細井 基延 様

## 花園型リテラシー教育の取り組み

■ 進学カルティベートコースでは、情報社会の中で様々な情報を集め、解釈・分析し、それをもとに自分の考えをアウトプットできる生徒の輩出を目指し、3年間で以下の取り組みを行っている。

<取り組み例>

### 1) リテラシー教育週間 (1年生~2年生)

- ・コースの特色ある取り組みのひとつ。  
1,2年生でテーマを決めて、一定期間全教科がそのテーマに沿った授業を展開する。
- ・23年度は「京都」をテーマに設定して授業を展開する。そして、そこでの学びを1年生は壁新聞、2年生は800字程度のレポートとして表現する。

### 2) 志望理由書作成指導 (2年生~3年生)

- ・志望理由書は、2年生の3学期と3年生の1学期の計2回取り組ませ、添削している。
- ・生徒は添削指導による学びを活かし、各自の志望理由書を作成して必要に応じて提出している。

### 3) 指定校推薦内定者を対象とした取り組み

- ・同コースの生徒の多くは、指定校等推薦入試を通じて大学に進学する。
- ・指定校推薦の趣旨に則り、高校卒業まで継続的に模範的な学習態度を継続させること、大学入学後に専門的な学び・深い学びを享受できるようになることを目的に、指定校推薦内定者には卒業までに「TOEIC Bridge」「文章読解・作成能力検定(文章検)」の実施及び授業内で教材を用いた対策と「4,000字程度の課題レポート(進学予定学部の学問内容から自身でテーマを設定)」に取り組ませている。

## 文章検導入のポイント

- 指定校推薦に内定すると、その後卒業を迎えるまでの間、生徒の学習意欲が低下してしまう。文章検合格という明確な目的・目標を掲げて学習に取り組みさせることが、生徒の学びの動機づけに繋がる。
- 文章検の教材は論理的に文章を読み解く方法、論理的な文章を書く方法を体系的に学ぶことができる。また、学習内容は、大学入学後の課題レポートや論文、ディベート・ディスカッションなど自分の主張を論理的に述べる際に役立つ。

## 文章検導入の形態

- 対象学年…進学カルティベートコース 3年生  
※学習は全員、検定は指定校推薦内定者のみ
- 導入目的…進路決定後の継続学習と、大学で求められる文章力の定着のため
- 受検級 …準2級
- 受検時期…1月
- 教材 …『文章検公式テキスト 準2級』
- 指導概要…指定校推薦内定後の11月~1月の期間、国語の授業内で指導

## 文章検導入の効果

- 学びの目的・目標が明確になったことで(他の取り組みと併せて)指定校推薦内定者の学習意欲が継続している。
- 論理的な文章の書き方の理解に繋がっている。文章を作成する際にも、トレーニングした内容を意識して取り組むことができている。

学年 学期	1年生			2年生			3年生			
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
取り組み 内容 (一部)		リテラシー 教育週間			リテラシー 教育週間	志望理由書 作成(1)	志望理由書 作成(2)	TOEIC Bridge/ 文章検/課題レ ポート作成		文章検準2級 受検